

PJ Network Manager

Windows 版

この説明書は PJ Network Manager ソフトウェアの取扱説明書です。
本ソフトウェアは、Windows 専用ソフトです。Macintosh には対応しておりません。
PJ Network Manager の操作はこの取扱説明書に従い行ってください。
はじめに、プロジェクター本体の取扱説明書をご覧ください、プロジェクターの基本的な取り扱い、注意事項をよくお読みください。
説明書に記載されている注意事項は必ずお守りください。

もくじ

第1章 はじめに.....	3
はじめに.....	3
SNMP について.....	3
商標について.....	3
動作環境.....	4
第2章 セットアップ.....	5
PJ Network Manager のインストール.....	6
PJ Network Manager のアンインストール.....	6
第3章 基本操作.....	7
PJ Network Manager の起動と終了.....	8
ステータスウインドウの各部名称.....	8
PJ Network Manager の終了.....	9
メニューツリー.....	9
ターゲットとは.....	9
ツールバーの名称.....	10
ターゲットのアイコン表示について.....	10
ターゲットを追加する.....	11
ターゲットを編集する.....	11
ターゲットを削除する.....	11
警告値を設定する.....	12
ターゲット監視を開始する.....	12
ターゲットにアラートが発生すると.....	13
ターゲットにトラップイベントが発生すると.....	13
トラップとは.....	13
ターゲット監視を停止する.....	14
ターゲットの全ステータス情報を表示する.....	14
初期設定をする.....	15
ステータスリストをカスタマイズする.....	17
アラート情報を表示する.....	20
イベントログを表示する.....	21
イベント、タイプ、警告項目、警告値の説明.....	22
イベント処理について.....	24
管理ファイルを保存する.....	26
レジストリーに保存される情報.....	26
定義ファイルからターゲット情報を一括で登録する.....	27
定義ファイルのフォーマット.....	28
ターゲット機器にログインする.....	29

第1章はじめに

はじめに

本 PJ Network Manager は、プライベート MIB(Management Information Base) をサポートしたネットワーク対応機器用の SNMP マネージャーソフトウェアです。

PJ Network Manager をコンピュータにインストールすることで、ネットワークに接続された機器(液晶プロジェクター、プロジェクションモニター、フラットディスプレイモニターなど)の動作状態の監視を簡単に行うことができます。

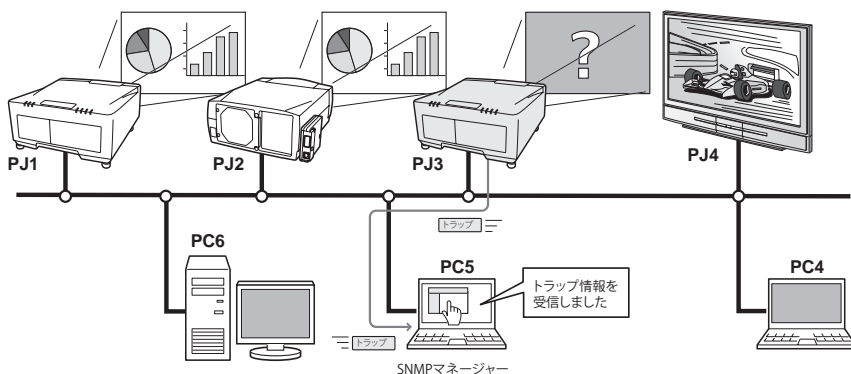
*監視対象の機器は SNMP エージェント機能を実装した当社製品に限りです。

SNMP について

SNMP(Simple Network Management Protocol) の略。

TCP/IP ネットワークにおいて、ネットワークに接続された機器をネットワーク経由で監視・制御するためのプロトコルです。

SNMP は、TCP/IP ネットワークで接続された管理装置(マネージャー)と管理対象内のエージェントが、MIB と呼ばれる管理情報を SNMP プロトコルにより読み出し、変更を行うことにより管理機能を実現します。



商標について

Microsoft、Windows、Windows 2000、Windows XP、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation 社の米国及び、その他の国における登録商標または、商標、商品名です。

Mac、Mac OS、および Macintosh は米国その他の国で登録された Apple Computer, Inc. の商標です。

説明書に記載の会社名、及び製品名は各国の登録商標または商標です。

*本書の記載内容を一部または全部を無断で転載することは禁じられています。

*本書に記載されている内容は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

動作環境

項目	必要条件	推奨条件
CPU	Pentium III 400MHz 以上	Pentium 4 2.0GHz 以上 Windows XP 使用時 Pentium 4 3.0GHz 以上 Windows Vista 使用時
メモリ	128MB 以上	256MB 以上 Windows XP 使用時 1GB 以上 Windows Vista 使用時
ハードディスクの空き容量	インストール時：20MB 以上 運用時：20MB 以上	
画面解像度	SVGA (16 色カラー以上)	XGA True カラー以上
LAN 接続	10Mbps 以上のネットワーク	100Mbps 以上のネットワーク
OS	Windows 2000 Windows XP	Windows XP Professional SP2 Windows Vista (32 bit version)

制限事項

監視可能なエージェント数は 200 台まで。

表記について

本書で説明に利用したコンピュータの OS は WindowsXP Professional、Web ブラウザは Internet Explorer 6.0 です。これ以外の環境では、説明の手順が異なる場合があります。

PJ Network Manager は当社製品共通のソフトウェアです。説明書中のイラスト図や機能名の説明でご使用のプロジェクトが対応していない項目もあります。

本書の対象について

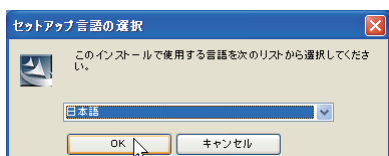
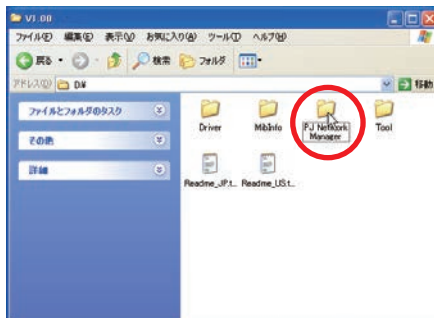
本書はコンピュータの操作、Web ブラウザの操作、プロジェクトの操作、及び、ネットワークに関する基本的な操作方法は記載していません。個々の機器、或いは、アプリケーションの操作方法については当該製品の取扱説明書をご覧ください。

第2章 セットアップ

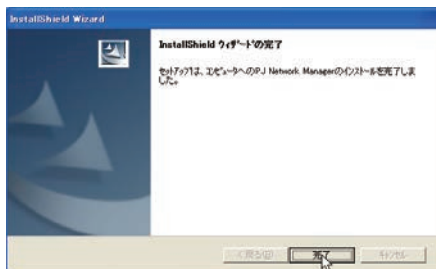
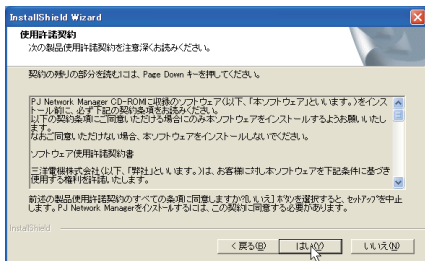
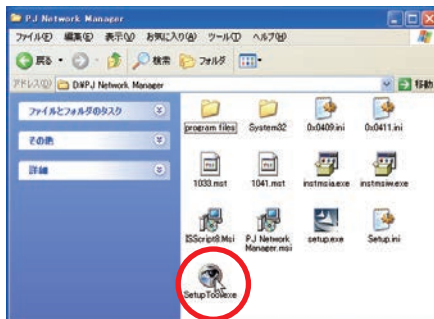
2

PJ Network Manager のインストール

- 1 コンピュータの CD-ROM ドライブに付属の CD-ROM を挿入します。CD-ROM 内「PJ Network Manager」フォルダ内の「SetupTool.exe」をダブルクリックしてインストールを開始します。
- 2 表示される「セットアップ言語の選択」ウインドウより表示言語「日本語」を選択した後、「OK」をクリックします。インストールウィザードに従ってインストールを開始してください。



インストールの途中で、ソフトウェア使用許諾契約画面が表示されますので、内容をよくお読みの上、使用許諾内容に同意いただける場合には「はい」をクリックしインストールを進めてください。



注意：

Windows 2000、Windows XP、Windows Vista では、コンピュータの管理者権限でログインしてソフトウェアのインストールを行う必要があります。また、インストールの前に他のアプリケーションを必ず終了しておいてください。他のアプリケーションが起動していると、ソフトウェアが正しくインストールされない場合があります。ご使用の OS により表示される内容が異なります。上記画面は Windows XP のものです。

PJ Network Manager のアンインストール

本ソフトウェアの削除は、コントロールパネルの「プログラムの追加と削除」で行ないます。(Windows Vista では、「プログラムと機能」で行ないます。)

3

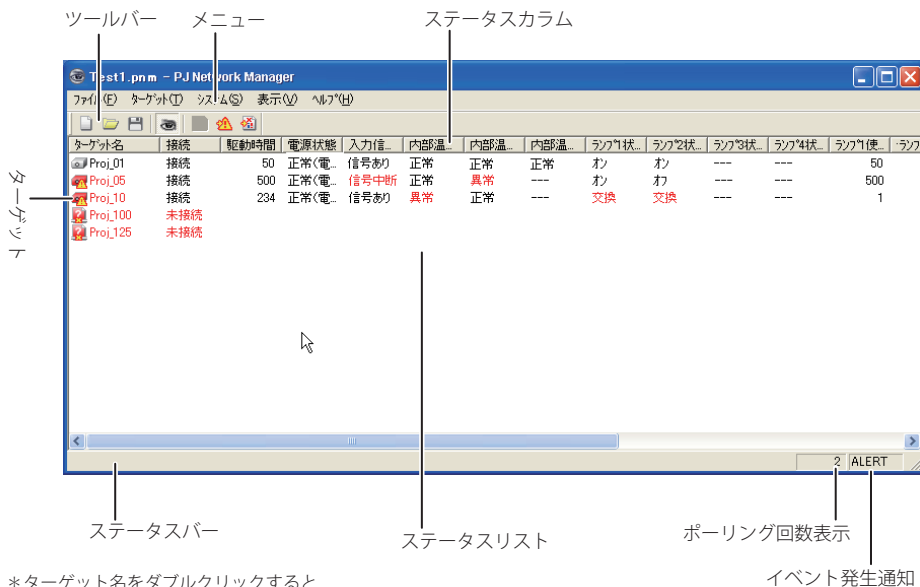
第3章 基本操作

PJ Network Manager の起動と終了

PJ Network Manager の起動は次のいずれかを実行することで起動します。

- ・「スタート」メニューから「すべてのプログラム」 - 「PJ Network Manager」を選択する。
- ・管理ファイル *1 をダブルクリックする。

ステータスウィンドウの各部名称



*ターゲット名をダブルクリックすると
Web ブラウザが起動し、ターゲットのロ
グインウィンドウが表示されます。(※p.29)

項目名	説明
メニュー	メニューコマンドを選択してコマンドを実行します
ツールバー	ボタンに割り当てられたコマンドを実行します
ターゲット	監視対象のネットワーク機器
ステータスバー	PJ Network Manager の状態やカーソルで選択しているコマンドの説明を表示します
ステータスリスト	監視するターゲットの状態をリスト表示します。 異常発生時にターゲット名、アイコン、および、異常発生項目を赤で表示する
ステータスカラム	ステータスリストのカラム
ポーリング回数表示	ターゲット監視中のポーリング回数を表示する
イベント発生通知	イベントが発生した場合、イベント名 (ALERT, TRAP, SYSERR) を表示する

*1 監視ターゲット情報やイベントログ情報が保存されたファイル。詳細は「管理ファイルを保存する」(※p.26)を参照。

[ご注意]

* PJ Network Manager は複数のステータスウィンドウを表示することは出来ません。

PJ Network Manager の終了

PJ Network Manager の終了は、ステータスウィンドウ右上の [X] をクリックします。または、メニューより「ファイル」-「アプリケーションの終了」を選択します。

メニューツリー

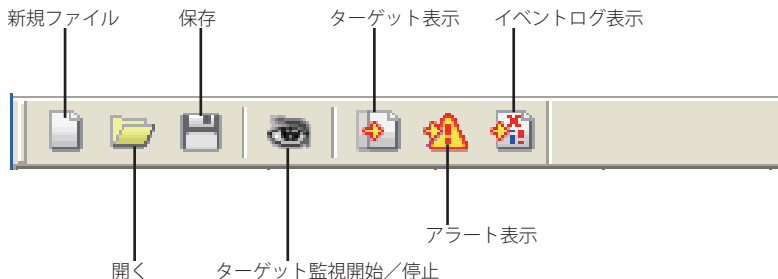
メニュー	サブメニュー	動作
ファイル	新規作成	管理ファイルを新規作成します
	開く	既存の管理ファイルを開きます
	上書き保存	管理ファイルを上書き保存します
	名前を付けて保存	管理ファイルを別名で保存します
	アプリケーションの終了	PJ Network Manager を終了します
ターゲット	ターゲット監視	ターゲット監視を開始／停止します
	ターゲット追加	ターゲット機器をリストに追加します
	ターゲット編集	登録しているターゲット情報を編集します
	ターゲット削除	ターゲットをリストから削除します
	警告値設定	ターゲットの警告値を設定します
システム	ターゲット一括登録	外部ファイルで作成したターゲット情報を取り込みます
	システム初期設定	システムの初期設定を設定します
	カラム選択	ステータスリストの表示項目を選択します
	フォント設定	ステータスリストの表示フォント、サイズを設定します
表示	最新の情報に更新	ステータスリストの表示を最新情報に更新します
	ターゲット表示	ターゲットの情報を個別表示します
	アラート表示	アラート情報をリスト表示します
	イベントログ表示	イベントのログを表示します
	ツールバー	ツールバーの表示／非表示を切り替えます
ヘルプ	バージョン情報	ソフトウェアのバージョンを表示します

ターゲットとは

SNMP エージェント機能を実装したネットワーク機器 (液晶プロジェクター、プロジェクションモニター、フラットディスプレイモニターなど) のことをターゲットと表します。

ツールバーの名称

ツールバーボタンには以下のコマンドが割り当てられています。



ボタン名	動作
新規ファイル	管理ファイルを新規作成します
開く	既存の管理ファイルを選択するダイアログウインドウを表示します
保存	管理ファイルを上書き保存します。新規ファイルの場合は管理ファイル名、保存場所を指定します
ターゲット監視開始/停止	ターゲットの監視を開始または停止をトグル動作で制御します
ターゲット表示	ターゲットの情報を個別表示します
アラート表示	アラート情報をリスト表示します
イベントログ表示	イベントのログを表示します

☞ ツールバーの表示/非表示の切り替えは、メニューより「表示」-「ツールバー」より行えます。

ターゲットのアイコン表示について

ターゲットの状態に応じたアイコンが表示されます。

アイコン表示		状態
フラットディスク プレータイプ	プロジェクト タイプ	
Proj_05	Proj_05	通常状態
Proj_01	Proj_05	異常発生（アラート、トラップ、システムエラーのいずれかがターゲットに発生しています）
Proj_01	Proj_100	接続エラー（ターゲットがネットワークに接続されていません）
Proj_100		取得エラー（ターゲットがネットワークに接続されていません、または、SNMP 機能を備えていない機器へ接続しています）
Proj_100		不明（ターゲット監視が実行されていません）

ターゲットを追加する

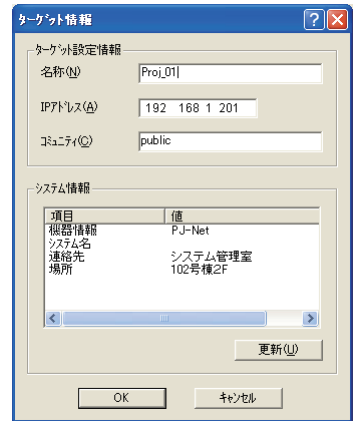
- 1 メニューより「ターゲット」-「ターゲット追加」を選択する。ターゲット情報登録ウインドウが表示されます。

項目名	説明
名称	ターゲット機器の管理名称を入力します
IPアドレス	ターゲット機器のIPアドレスを入力します
コミュニティ	ネットワーク上のコミュニティ名を入力します。初期設定では"public"が設定されています。
システム情報	ネットワーク機器に設定されている情報を取得し表示します

- 2 ターゲット設定情報を入力し、「更新」ボタンをクリックすると、ターゲット機器に設定された情報が「システム情報」項目に表示されます。

☞ ターゲット機器が起動していない場合、または、監視対象ではない場合、「情報を取得できません」のエラーダイアログが表示されます。

- 3 「OK」をクリックし、ウインドウを閉じます。上記ステップを繰り返し、管理対象としたい機器を登録します。



ターゲットを編集する

- 1 編集するターゲット名をステータスリスト上で右クリック選択します。

- 2 ポップアップメニューから「ターゲット編集」を選択します。

ターゲット情報ウインドウが表示されますので、内容を編集し、「OK」をクリックします。

☞ システム情報の内容は編集できません。

☞ ターゲット編集はメニューより「ターゲット」-「ターゲット編集」からも行うことができます。

ターゲットを削除する

- 1 削除するターゲット名をステータスリスト上で右クリック選択します。

- 2 ポップアップメニューから「ターゲット削除」を選択します。

確認ウインドウが表示されますので、「OK」をクリックし削除を実行します。

☞ 上記手順はメニュー「ターゲット」-「ターゲット削除」からも行うことができます。

☞ ターゲット監視中はターゲットの追加、編集および削除はできません。

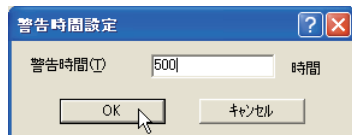
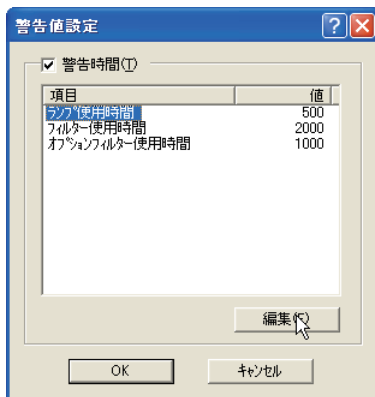
☞ ターゲットの最大登録数は 200 件です。

☞ ターゲットの名称、コミュニティ名は半角 255 文字までです。

警告値を設定する


PJ Network Manager は設定項目の使用時間が規定した使用時間に達したときアラートを表示する機能を備えています。使用可能な設定項目（使用時間）はターゲット機器ごとにそれぞれ異なります。

- 1 設定するターゲット名をステータスリスト上で選択し、右クリックします。
 - ☞ 複数同時に設定する場合は、「Shift」キーまたは「Ctl」キーを押しながら選択します。
- 2 ポップアップウィンドウから「警告値設定」を選択します。右の設定ウィンドウが表示されます。
- 3 警告時間のチェックボックスにチェックを入れると、設定項目が選択可能状態になります。設定する項目を選択し、「編集」ボタンをクリックします。設定ウィンドウが現れます。
- 4 選択項目のしきい値を入力し、「OK」ボタンをクリックします。設定ウィンドウが消えます。
- 5 他に項目がある場合には、残りの項目のしきい値をそれぞれ設定した後、「OK」をクリックします。設定ウィンドウが消えます。



- ☞ 設定した警告値を無効にするには、警告時間のチェックボックスのチェックを外します。
- ☞ 複数のターゲットを選択した場合、設定時間はステータスリストの最下位のターゲットの値を表示します。入力可能な時間は0～99999時間までです。設定した警告値は管理ファイルに保存されます。
- ☞ 製品によっては対応していない設定項目があります。

ターゲット監視を開始する

- 1 ターゲット監視の開始は、ツールバー上の「ターゲット開始: 」ボタンをクリックします。
- 2 PJ Network Manager は登録されているターゲットを上から順番にポーリングし、その結果をステータスリスト上に順次表示します。

ターゲット名	接続	駆動時間	電源状態	入力信...	内部温...	内部温...	内部温...	ランプ1状...	ランプ2状...	ランプ3状...
Proj_01	接続	50	正常<電...	信号あり	正常	正常	正常	オ	オ	---
Proj_05	接続	500	正常<電...	信号中断	正常	異常	---	オ	オ	---
Proj_10	接続	234	正常<電...	信号あり	異常	正常	---	交換	交換	---
Proj_100	未接続									
Proj_125	未接続									

- ☞ ターゲット監視の開始はメニューより「ターゲット」-「ターゲット監視」からも行うことができます。

ターゲットにアラートが発生すると

ターゲット機器に異常が発生している場合や接続異常がある場合には、ターゲット名、アイコン、ステータス欄項目を赤色で表示し、異常を知らせます。

- ターゲット機器の MIB 情報が取得できない場合は、接続エラーとして表示される。
- ターゲットの監視間隔は「システム」-「システム初期設定」-「監視間隔」の設定に従う。

ターゲット名	接続	駆動時間	電源状態	入力信...	内部温...	内部温...	内部温...	ランプ状...
Proj_01	接続	50	正常<電...	信号あり	正常	正常	正常	オ
Proj_05	接続	600	正常<電...	信号中断	正常	異常	---	オ
Proj_10	接続	234	正常<電...	信号あり	異常	正常	---	交換
Proj_100	未接続							
Proj_125	未接続							

ターゲットにトラップイベントが発生すると

ターゲット監視中、ターゲット機器に予め設定された通知事象(トラップ)が発生すると、ターゲットより、PJ Network Manager へトラップ情報が通知されます。このトラップ情報は即座にステータスリスト上に表示されます。


トラップ情報の通知はターゲット機器の SNMP 設定項目で設定されます。プロジェクトターではランプ不灯時、ランプ交換する時期が来たとき、電源異常で消灯したとき、など、があります。詳細なトラップ情報は、別冊ネットワーク取扱説明書の SNMP トラップ情報を参照してください。

ターゲット名	接続	駆動時間	電源状態	入力信...	内部温...	内部温...	内部温...	ランプ状...
Proj_01	接続	50	正常<電...	信号あり	正常	正常	正常	オ
Proj_05	接続	600	正常<電...	信号中断	正常	異常	---	オ
Proj_10	接続	234	正常<電...	信号あり	異常	正常	---	交換
Proj_100	未接続							
Proj_125	未接続							


トラップとは

SNMP エージェントに設定された通知事象のこと。予めある事象(ランプ不灯時、電源異常で消灯した時、など)が発生したときに、SNMP マネージャへトラップ情報として通知する。

ターゲット監視を停止する

ターゲット監視の停止は、ツールバー上の「ターゲット開始：」ボタンを再度クリックします。

ターゲットの全ステータス情報を表示する

ターゲット名を選択し、ツールバー上の「ターゲット表示：」ボタンをクリックします。

以下のようにターゲットで利用可能なすべてのステータス情報を確認することができます。

項目	値	単位
ターゲット名	Proj_05	
IPアドレス	192.168.1.201	
コミュニティ	public	
透入日時	2004/06/22 17:54:46	
機器情報	7.052	
システム名	Proj_05	
連絡先	システム管理室	
場所	101種AF	
接続	接続	
駆動時間	500	時間
電源状態	正常(電源オ)	
入力信号	Input 4	
入力選択	NETWORK	
入力信号状態	信号中断	
ネットワーク状態	オフライン	
音量	20	
高温	31	
低音	0	
音声ミュート	---	
パワーマネジメント	レディ	
モニターアウト	オフ	
シャッター	オフ	
モニターマネージャアウト	---	

☞ アラート異常、または、接続異常が発生している項目およびターゲット名は赤色で表示されます。

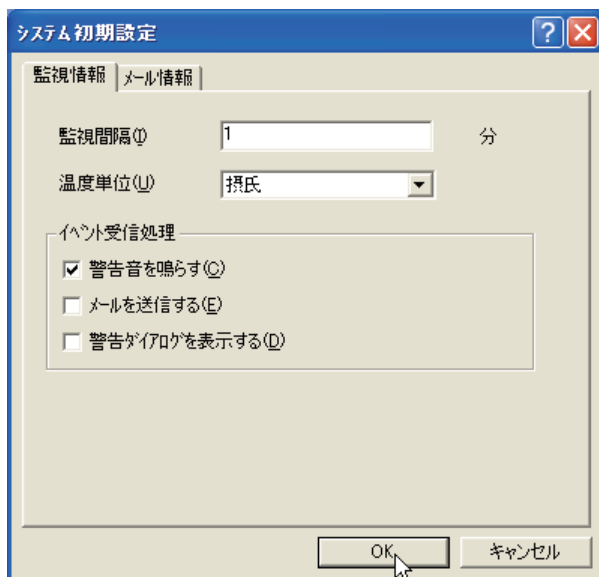
☞ カラム情報の値を取得できない場合は「---」が表示されます。

初期設定をする

PJ Network Manager が監視する監視情報やメール情報を次の手順で設定します。

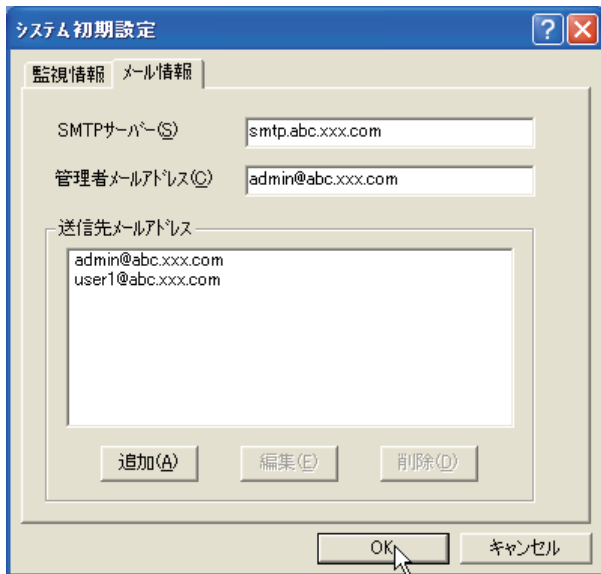
- 1 メニューの「システム」-「システム初期設定」を選択します。以下の設定ウィンドウが表示されます。
- 2 「監視情報」タブと「メール情報」タブをクリックして切り替えます。

監視情報



項目名	説明
監視間隔	ターゲットを監視する間隔を分単位で設定します (1分から99分で設定)
温度単位	温度表示の単位を摂氏(°C)または華氏(°F)を設定します
イベント受信処理	ターゲットにイベント(ALERT、TRAP、SYSERRなど)が発生した場合の処理を設定します。詳細は「イベント処理について」(※p.24)を参照ください。 <input type="checkbox"/> 警告音を鳴らす <input type="checkbox"/> メールを送信する <input type="checkbox"/> 警告ダイアログを表示する

メール情報



メール情報

項目名	説明
SMTPサーバ	SMTP メールサーバのIP アドレスまたはサーバ名を設定します
管理者メールアドレス	管理者のメールアドレスを設定します
送信先メールアドレス	ターゲットにイベント (ALERT、TRAP、SYSERR など) が発生した場合のメール通知先を設定します。 「追加」をクリックして、表示されるメールアドレス入力ウィンドウから設定します。

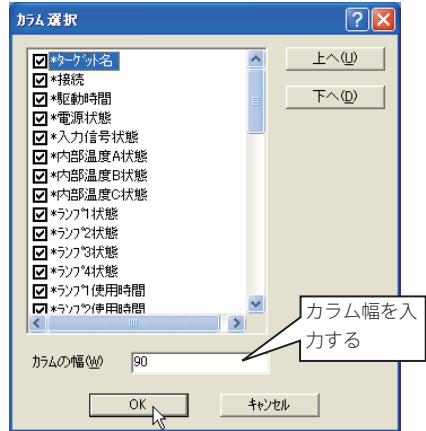
- ✎ メールアドレスを設定しても、「監視情報」-「イベント受信処理」の「メールを送信する」にチェックが入っていないければ、メールは送信されません。
- ✎ 送信先メールアドレスの最大登録件数は10件までです。
- ✎ メールを送信内容については項目「イベント処理について」(p.24)を参照ください。

ステータスリストをカスタマイズする

監視する機器が対応するカラム項目に合わせ、ステータスリストをカスタマイズします。

表示ステータスカラムを変える

- 1 メニューより「システム」-「カラム選択」を選択します。
- 2 以下ウィンドウより、ステータスリストに表示させるカラム名にチェックを入れます。
☞ カラム名横の「*」はアラート項目を表します。
- 3 ステータスリストの表示カラム順の変更は、順番を変更したいカラムを選択し、「上へ」または「下へ」ボタンを押して変更します。
- 4 「OK」をクリックして設定を終了します。



カラム名	説明 (表示)
*ターゲット名	ネットワーク機器の名称
*接続	ネットワークへの接続状態 (接続、未接続、取得エラー)
*駆動時間	プロジェクターの積算使用時間
*電源状態	プロジェクターの電源状態 (正常 (電源オン)、正常 (スタンバイ)、パワーマネージメント、電源異常、ランプ不灯など)
*入力信号状態	入力信号の状態 (信号あり、信号なし、信号中断)
*内部温度 A 状態	プロジェクターの内部温度 A の状態 (正常、警告、異常)
*内部温度 B 状態	プロジェクターの内部温度 B の状態 (正常、警告、異常)
*内部温度 C 状態	プロジェクターの内部温度 C の状態 (正常、異常)
*外部温度状態	プロジェクターの設置場所付近の温度状態 (正常、警告、異常)
*ランプ 1 状態	ランプ 1 の状態 (オフ、オン、不灯、交換)
*ランプ 2 状態	ランプ 2 の状態 (オフ、オン、不灯、交換)
*ランプ 3 状態	ランプ 3 の状態 (オフ、オン、不灯、交換)
*ランプ 4 状態	ランプ 4 の状態 (オフ、オン、不灯、交換)
*ランプ 1 使用時間	ランプ 1 の使用時間
*ランプ 2 使用時間	ランプ 2 の使用時間
*ランプ 3 使用時間	ランプ 3 の使用時間
*ランプ 4 使用時間	ランプ 4 の使用時間
*フィルタ状態	エアフィルターの状態 (正常、目詰り)
*オプションボックス	
フィルタ状態	オプションボックスのフィルターの状態 (正常、エラー、目詰り)
*フィルタ使用時間	エアフィルターの使用時間
*オプションボックス	
フィルタ使用時間	オプションボックスのフィルターの使用時間
*エラー情報	エラー情報 (プロジェクターでは対応していません)

☞ 括弧内の値は標準的な値であり、これらは接続している機器によって異なります。

☞ カラム名横の「*」はアラート項目を表します

カラム名	説明 (表示)
IP アドレス	ネットワーク機器に設定された IP アドレス
コミュニティ	ネットワーク機器に設定されたコミュニティ名 (public)
導入日時*	ネットワーク機器の導入日時*
機器情報	ネットワーク機器に設定された機器の名称情報
システム名	ネットワーク機器に設定されたシステムの名称情報 (Proj_05)
連絡先	ネットワーク機器に設定された連絡先情報
場所	ネットワーク機器に設定された場所情報
入力信号	入力モードの情報 (Input1、Input2、など)
入力選択	入力ソースの情報 (RGB、VIDEO、S-VIDEO、NETWORK など)
ネットワーク状態	ネットワークの状態表示 (オフライン、ネットワークビュー、ネットワークキャプチャ、など)
音声モード	音声のモードを表示 (NORMAL、PERSONAL、TALK、MUSIC、など)
音量	音量の設定値を表示
高音	高音の設定値を表示
低音	低音の設定値を表示
バランス	バランスの設定値を表示
音声ミュート	音声ミュートの状態 (オン、オフ)
パワーマネジメント	パワーマネジメントの設定 (オフ、レディ、シャットダウン)
モニターアウト	モニターアウトの設定 (オン、オフ)
シャッター	シャッターの状態 (オン、オフ)
シャッターマネジメント	シャッターマネジメントの設定 (シャットダウン)
ファン制御	ファンコントロールの状態 (ノーマル、マックス、オフ、オン1、など)
内部温度 A	ネットワーク機器の内部温度 A の表示 (摂氏、または、華氏)
内部温度 B	ネットワーク機器の内部温度 B の表示 (摂氏、または、華氏)
内部温度 C	ネットワーク機器の内部温度 C の表示 (摂氏、または、華氏)
外部温度	ネットワーク機器の設置場所付近の温度表示 (摂氏、または、華氏)
ランプモード	ランプのモードの表示 (1:1灯、2:2灯、4:4灯)
ランプコントロール	ランプのコントロールモードの表示 (オート、ノーマル、エコ、など)
モデル名	ネットワーク機器のモデル名を表示

* 1 新規に PJ Network Manager を導入した場合、PJ Network Manager の導入日時が設定されます。

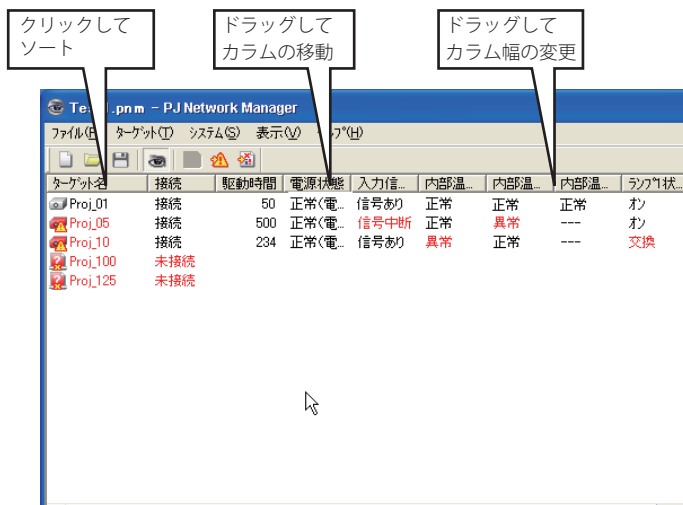
☞ 製品によっては対応していないカラム項目があります。対応していないカラム項目の値は空白または「--」で表示されます。

ステータスコラムの順序や幅は以下の手順でも変更できます

順序を変更したいステータスコラム名をドラッグして、変更したい場所へ移動させドロップします。コラム幅の変更は、変更したいコラムの右の境界へカーソルを合わせます。境界上でマウスをドラッグしてコラムを任意の幅に調節します。

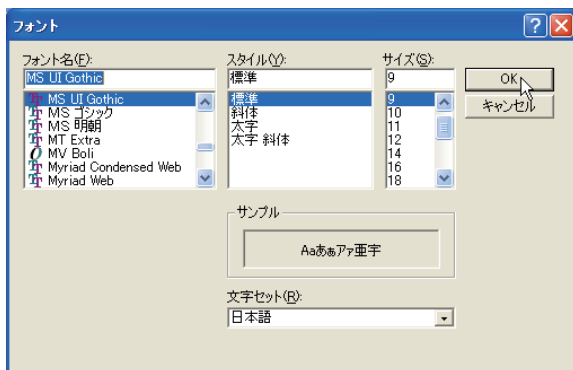
ステータスリストのリスト順をソートする

ステータスリストに表示されるターゲットの順番は、コラム名をクリックすることで並び替えることが可能です。コラム名をクリックするたびに降順／昇順で並び替えられます。




ステータスリストのフォントを変更する

メニューより「システム」-「フォント設定」を選択すると、フォント設定ウィンドウが表示されます。希望するフォント、スタイル、サイズを選択します。



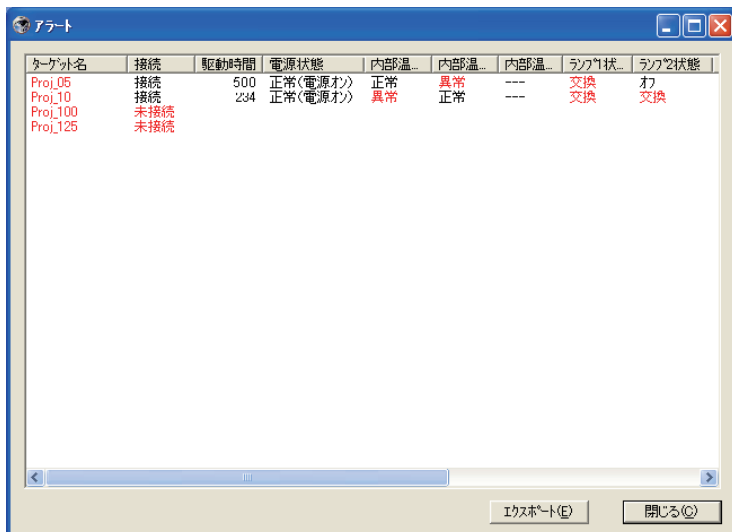
カスタマイズしたステータスリストの表示属性は、アプリケーション共通で適用されます。

アラート情報を表示する

1 ツールバー上の「アラート表示: 」ボタンをクリックします。

以下のように異常が検出されているすべてのターゲットのアラート情報をリスト表示します。

2 アラート情報をテキストファイル (CSV ファイル) として書き出す場合には、「エクスポート(E)」をクリックします。



The screenshot shows a window titled 'アラート' (Alert) with a table of target status. The table has the following columns: ターゲット名 (Target Name), 接続 (Connection), 駆動時間 (Drive Time), 電源状態 (Power Status), 内部温... (Internal Temp...), 内部温... (Internal Temp...), 内部温... (Internal Temp...), ランプ状... (Lamp Status...), and ランプ状態... (Lamp Status...). The data rows are:

ターゲット名	接続	駆動時間	電源状態	内部温...	内部温...	内部温...	ランプ状...	ランプ状態...
Proj_05	接続	500	正常(電源オ)	正常	異常	---	交換	オ
Proj_10	接続	234	正常(電源オ)	異常	正常	---	交換	交換
Proj_100	未接続							
Proj_125	未接続							


At the bottom of the window, there are two buttons: 'エクスポート(E)' (Export) and '閉じる(C)' (Close).

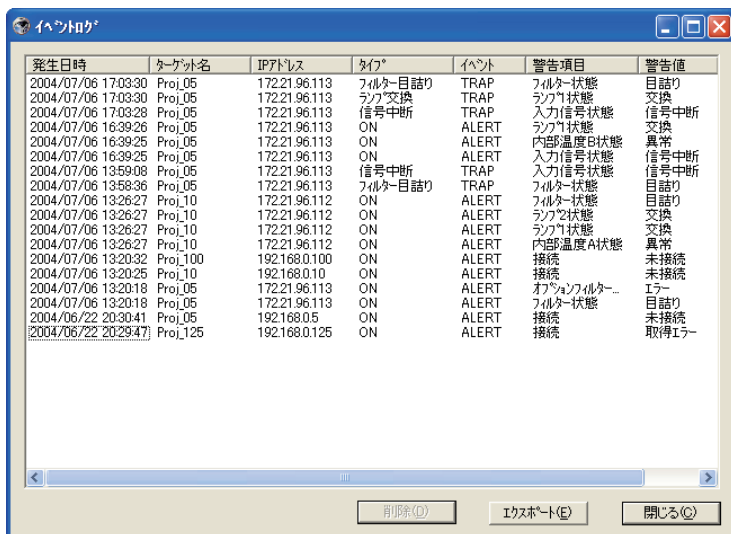
☞ リストされるカラムはアラート項目のみです。(※p.17)

☞ リスト順はステータスリスト順と同じです。並び替えは出来ません。

☞ カラム幅はカラム右境界をマウスでドラッグすることで変更できます。カラムの順番はカラムをドラッグ & ドロップで変更できます。カラムの削除はできません。

イベントログを表示する

- 1 ツールバー上の「イベントログ表示: 」ボタンをクリックします。
以下のようにこれまでに発生したイベントログをリスト表示します。
- 2 イベントをテキストファイル(CSV ファイル)として書き出す場合には、「エクスポート(E)」をクリックします。
- 3 記録されているイベントログを削除する場合は、削除する発生日付項目を選択し、「削除」をクリックします。確認ウインドウより「はい」をクリックし、削除を実行します。



発生日時	ターゲット名	IPアドレス	タイプ	イベント	警告項目	警告値
2004/07/06 17:03:30	Proj_05	172.21.96.113	フィルター目詰り	TRAP	フィルター状態	目詰り
2004/07/06 17:03:30	Proj_05	172.21.96.113	ランク交換	TRAP	ランク状態	交換
2004/07/06 17:03:28	Proj_05	172.21.96.113	信号中断	TRAP	入力信号状態	信号中断
2004/07/06 16:39:26	Proj_05	172.21.96.113	ON	ALERT	ランク状態	交換
2004/07/06 16:39:25	Proj_05	172.21.96.113	ON	ALERT	内部温度B状態	異常
2004/07/06 16:39:25	Proj_05	172.21.96.113	ON	ALERT	入力信号状態	信号中断
2004/07/06 16:39:08	Proj_05	172.21.96.113	信号中断	TRAP	入力信号状態	信号中断
2004/07/06 13:58:36	Proj_05	172.21.96.113	フィルター目詰り	TRAP	フィルター状態	目詰り
2004/07/06 13:26:27	Proj_10	172.21.96.112	ON	ALERT	フィルター状態	目詰り
2004/07/06 13:26:27	Proj_10	172.21.96.112	ON	ALERT	ランク状態	交換
2004/07/06 13:26:27	Proj_10	172.21.96.112	ON	ALERT	ランク状態	交換
2004/07/06 13:26:27	Proj_10	172.21.96.112	ON	ALERT	内部温度A状態	異常
2004/07/06 13:20:32	Proj_100	192.168.0.100	ON	ALERT	接続	未接続
2004/07/06 13:20:25	Proj_10	192.168.0.10	ON	ALERT	接続	未接続
2004/07/06 13:20:18	Proj_05	172.21.96.113	ON	ALERT	オプションフィルター	エラー
2004/07/06 13:20:18	Proj_05	172.21.96.113	ON	ALERT	フィルター状態	目詰り
2004/06/22 20:30:41	Proj_05	192.168.0.5	ON	ALERT	接続	未接続
2004/06/22 20:29:47	Proj_125	192.168.0.125	ON	ALERT	接続	取得エラー

イベントログ情報項目

項目名 説明

発生日時	イベントの発生日時
ターゲット名	イベント発生機器のターゲット名
IPアドレス	イベント発生機器のIPアドレス
タイプ	イベントのタイプ(次表参照)
イベント	イベントの種類(ALERT、TRAP、SYSERR)(次表参照)
警告項目	イベントの警告項目(次表参照)
警告値	イベントの警告値(次表参照)
単位	警告値が数値表示の場合、その単位を表す

- ☞ リストされる項目は固定項目です。
- ☞ イベントログのリスト順は、カラム名をクリックすることで一時的に並び替え可能です。カラム名をクリックするたびに降順/昇順で並び替えられます。
- ☞ カラム幅はカラム右境界をマウスでドラッグすることで変更できます。カラムの順番はカラムをドラッグ&ドロップで変更できます。
- ☞ イベントログの表示はメニュー「表示」-「イベントログ表示」からも行うことができます。

イベント、タイプ、警告項目、警告値の説明

イベントログに記載される「イベント」、「タイプ」、「警告項目」、「警告値」は以下の表の通りです。

イベント	タイプ	警告項目	警告値	説明
ALERT	ON：異常が発生した OFF：異常が解除された	接続	未接続 接続 取得エラー	* 次ページ 参照
		電源状態	電源異常 温度異常 温度異常後復帰 RS232C 異常 パワーマネージメント シャッターマネージメント ランプ不灯	
		入力信号状態	信号中断 信号あり	
		内部温度状態 (A～C) 外部温度状態	異常	
		ランプ状態 (1～4)	不灯 交換	
		ランプ使用時間 (1～4)	(使用時間)	
		フィルター状態	目詰まり	
		フィルター使用時間	(使用時間)	
		オプティカルユニット状態	目詰まり エラー	
		オプティカルユニット使用時間	(使用時間)	
TRAP	ランプ不灯	ランプ状態 (1～4)	不灯	* 次ページ 参照
	ランプ交換		交換	
	電源オフ 電源異常 パワーマネージメント シャッターマネージメント	電源状態	正常 (スタンバイ) 正常 (ケージ中) 電源異常 パワーマネージメント シャッターマネージメント	
	温度異常	内部温度状態 (A～C) 外部温度状態	異常	
	信号中断	入力信号状態	信号中断	
	ランプ交換時期	ランプ使用時間 (1～4)	(使用時間)	
	フィルタ交換時期	フィルター使用時間	(使用時間)	
	フィルタ目詰り	フィルター状態	目詰まり	
	オプティカルユニット交換時期	オプティカルユニット使用時間	(使用時間)	
	オプティカルユニット目詰り	オプティカルユニット状態	目詰り	
	オプティカルユニットエラー		エラー	
オートブレイク	なし	エラー		
SYSERR	* メールエラー * メモリーエラー	なし	なし	

注) 各々の警告項目、警告値は次ページの表を参照してください

警告値の説明

警告項目	警告値	説明
接続	未接続 接続* 取得エラー	ネットワークから切断されたとき ネットワークに接続されたとき ターゲットの MIB 情報を取得できなかったとき
電源状態	電源異常	電源異常で消灯したとき
	温度異常	温度異常が発生し消灯したとき
	温度異常後復帰	正常、温度異常で消灯後
	RS232C 異常	RS232C 通信時に異常が発生したとき
	パワーマネージメント	パワーマネージメントにて消灯したとき
	シャッターマネージメント	シャッターマネージメントにて消灯したとき
	ランプ不灯	ランプの点灯失敗したとき
	正常 (スタンバイ)* 正常 (クリーニング中)*	プロジェクターがスタンバイになったとき プロジェクター電源オフ後、クリーニング中
入力信号状態	信号中断 信号あり*	信号が中断したとき 信号が復帰したとき
内部温度状態	異常	温度異常で消灯したとき
ランプ状態	不灯 交換	ランプ不灯のとき ランプの交換時期が来たとき
ランプ使用時間	(使用時間)	ランプのユーザー設定使用時間が来たとき
フィルター状態	目詰り	フィルターが目詰りを起こしたとき
フィルター使用時間	(使用時間)	フィルターのユーザー設定使用時間が来たとき
オフショボ ックスフィルター状態	目詰り エラー	オフショボ ックスフィルターが目詰りを起こしたとき オフショボ ックスフィルターに異常が発生したとき
オフショボ ックスフィルター使用時間	(使用時間)	オフショボ ックスフィルターのユーザー設定使用時間が来たとき
(オートブレイザー)	エラー	オートブレイザー中にエラーが発生したとき
(メールエラー) (システムエラー)	なし	メール送信に失敗したとき メモリ取得に失敗したとき

☞ 上記表中で " * " で示された警告値はアラートが解除された (タイプが OFF になった) 時のイベントを表しています。その他はアラートが発生したときの警告値を表しています。

☞ イベントログのカラム順序、幅はコンピュータのレジストリーに保存されます。

☞ イベントログは最大 1000 件までです。1000 件を超えた場合、一番古いイベントログが削除され、新規イベントが追加されます。イベントログは管理ファイルに保存されます。

イベント処理について

イベントが受信されると、システム初期設定で選択している以下のイベント処理が実行される。

- 警告音を鳴らす
- メールを送信する
- 警告ダイアログを表示する

警告音を鳴らす

イベントが受信されると、コンピュータのスピーカより警告音を鳴らします。警告音は予めコンピュータに警告音として設定されているサウンドが再生されます。

☞ コンピュータにスピーカが付属していない場合や、音量を消音設定している場合は警告音は再生されません。

メールを送信する

以下の内容のメールが送信先メールアドレスへ送信されます。

送信者：Test1<admin@abc.xxx.com> (ファイル名)
日時：2004年5月18日 18:21
宛先：user@abc.xxx.com
件名：ALERT メッセージ

アラートが発生しました。
* 発生日付：2004/05/18 18:15:50
* ターゲット名：Proj_10
* IP アドレス：192.168.1.101
* イベント：ALERT
* タイプ：ON
* 警告項目：電源状態
* 警告値：電源異常

☞ イベント、タイプ、警告項目、警告値の詳細情報は「イベントログを表示する」(☞p.21) をご覧ください。

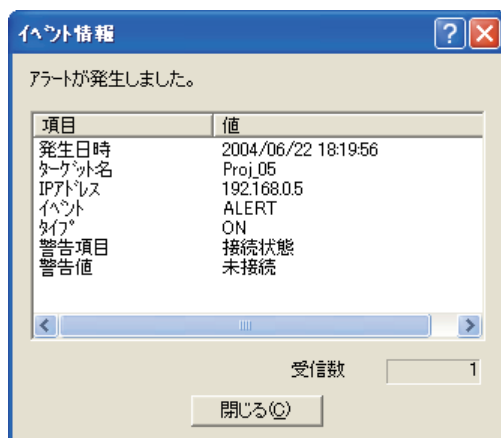
☞ イベント処理の設定は「システム初期設定」(☞p.15) をご覧ください。

Windows XP サービスパック 2(SP2) / Windows Vista 使用上の注意

Windows XP SP2 および Windows Vista では初期設定で Windows ファイヤーウォール機能が有効に設定されています。この機能により、上記メール送信機能は利用できません。このメール送信機能を使用するには、PJ Network Manager アプリケーションのブロックを無効にする必要があります。Windows ファイヤーウォールの詳細はパソコンの Windows ヘルプを参照ください。

警告ダイアログを表示する


以下のダイアログウインドウがスクリーン上に表示されます。



イベント、タイプ、警告項目、警告値の詳細情報は「イベントログを表示する」(p.21)をご覧ください。

管理ファイルを保存する

PJ Network Manager を使用してターゲット監視を行う場合、登録ターゲット情報やシステム設定、イベントログ情報を任意のファイル名称の管理ファイルに保存することが可能です。複数のネットワーク機器を管理区分ごとに分けた管理ファイルを作成し管理することができます。

ツールバー上の「保存：」ボタンをクリックします。任意の管理ファイル名を付けて保存します。拡張子は(.pnm) です。

管理ファイルは以下の情報を保存します。

項目	説明
ヘッダー	管理ファイル区分、ファイルバージョン
システム初期設定値	システムの初期設定値 <ul style="list-style-type: none"> ・監視間隔 ・イベント受信処理種 ・温度単位 ・メール情報
ターゲット登録情報	ターゲットの登録情報 <ul style="list-style-type: none"> ・ターゲット情報（ターゲット名、IP アドレス、コミュニティ名、導入年月日） ・ターゲットの MIB 情報 ・警告値
イベントログ情報	発生したイベントログ情報（ALERT、TRAP、SYSERR）

☞ 管理ファイルは最大約 1MB のファイル容量を必要とします。（ターゲット登録件数 200 件、イベントログ件数 1000 件の場合）

レジストリーに保存される情報

以下の PJ Network Manager のアプリケーション設定情報がコンピュータのレジストリーに保存されます。従い、アプリケーションを終了しても、設定状態は記憶されています。

項目	説明
ステータスウィンドウ情報	ステータスウィンドウのスクリーン上の表示位置とサイズ
ステータスリスト情報	ステータスリストの表示ステータス名、カラム幅、カラム表示順
イベントログリスト情報	イベントログリストのカラム幅とカラム表示順
フォント設定	フォント設定値

定義ファイルからターゲット情報を一括で登録する

PJ Network Manager は定義ファイルからターゲット情報を一括で取り込む機能を用意しています。以下で示すフォーマットに沿ってターゲット情報を書き込んだ定義ファイル（CSV データ形式）を予め用意しておきます。

- 1 メニューより、「システム」 - 「ターゲット一括登録」を選択します。ターゲット一括登録ウインドウが表示されます。
- 2 「参照」ボタンをクリックし、ターゲット情報を書き込んだ定義ファイルを選び取り込みます。ターゲット一括登録ウインドウ上にターゲット情報がリストされます。



*取り込んだ定義ファイル中にエラーがある場合には「結果」カラムにエラー情報が表示されます。定義ファイルを再編集して再度取り込みを行います。

- 3 「OK」ボタンをクリックし一括登録を実行します。

定義ファイルのフォーマット

定義ファイルは表計算ソフトウェアなどで作成した CSV データのファイルで、以下のように定義されています。

カラム	説明 (例)
ターゲット名	ターゲット機器の名称 (Proj_01, Proj_03, PDP_01 など)
IP アドレス	IP アドレス (192.168.0.1 など)
コミュニティ	SNMP のコミュニティ名称。当社ネットワーク機器の初期値は "public"

定義ファイルの実際例

以下にターゲット情報を書き込んだ定義ファイルの実際例を示します。このファイルを CSV ファイルとして保存します。

ターゲット名	IP アドレス	コミュニティ
Proj_01	192.168.0.1	public
Proj_02	192.168.0.2	public
Proj_03	192.168.0.3	public
Proj_04	192.168.0.6	public
Proj_05	192.168.0.7	public
PDP_01	192.168.0.8	public
FPD_10	192.168.0.9	public

ターゲット機器にログインする

ステータスリスト上のターゲット名をダブルクリックすると、コンピュータにインストールされた Web ブラウザが起動し、ログインウィンドウが表示されます。

ユーザは Web ブラウザを使用してプロジェクターの設定や操作を遠隔で行うことができます。詳細な操作説明は、別冊のネットワーク取扱説明書をご覧ください。

ダブルクリックしてログイン

ターゲット名	接続	駆動時間	電源状態	入力信...	内部温...	内部温...	内部温...	ランプ1状...	ランプ2状...	ランプ3状...	ランプ4状...	ランプ使...
Proj_01	接続	50	正常<電...	信号あり	正常	正常	正常	お	お	---	---	50
Proj_05	接続	500	正常<電...	信号中断	正常	異常	---	お	お	---	---	500
Proj_10	接続	234	正常<電...	信号あり	異常	正常	---	交換	交換	---	---	1
Proj_100	未接続											
Proj_125	未接続											

Network - Microsoft Internet Explorer

アドレス http://192.168.1.201/

スタンダード モード

ライト モード

ログイン画面の一例。モデル毎にログイン画面は異なります。

